

平成 2 7 年 度 事 業 報 告 書

自 平成 2 7 年 4 月 1 日
至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

(平成 2 8 年 5 月)

目次

第1章 平成27年 ねじの生産・輸出入状況	1
第2章 事業活動	2
I 委員会事業	2
1. 政策委員会事業	2
(1) 委員会・部会活動強化への諮問	2
(2) 協会活性化のための会員増強の推進	2
(3) 決算・予算報告への諮問	2
(4) 政策委員会開催	2
(5) その他	2
2. 未来開発・パブリシティ委員会事業	2
(1) IT化された「会報ねじ」の有効活用	2
(2) 未来開発・パブリシティ委員会活動	2
(3) MF-Tokyo2015 出展	2
(4) 協会創立55周年記念ねじフォーラムの実施	3
(5) 創立55周年記念誌の発行	4
(6) 協会内のEメール情報網構築推進活動	4
(7) JIS本体規格製品の普及促進活動のフォローアップ	4
(8) 国立科学博物館の産業遺産調査結果の活用促進	5
(9) 五地域ねじ協会交流大会で使用する大会ロゴの提案について	5
(10) 調査・広報関係事業	5
(11) 平成28年度 本委員会の事業計画案の策定協力	5
3. 資格委員会事業	6
(1) 事業内容(計画)の具体化の審議、決定、同事業推進	6
(2) 正・副・主席検定会議	6
(3) ハンドブックの拡充・改訂作業	6
(4) ねじ製造技能検定(協会認定)を国家検定化するための検討	6
(5) ねじ技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)の実施	6
(6) 職業能力評価基準の活用促進事業推進	8
(7) 資格委員会開催	8
(8) 平成28年度 本委員会の事業計画案の策定	8
(9) その他、資格制度に関する事業	8
4. 技術委員会事業	9
(1) 技術講習会(研修会)及び技術関係視察/工場見学会等の開催	9
(2) ねじに関する安全啓発事業	9
(3) 圧造技術スクール(FTS)の開催	9
(4) JIS/ISOに関する事業	10
(5) サポートインダストリー振興事業	10
(6) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業	10
(7) 技術関係書(CD版)の頒布	10
(8) 技術委員会開催	10
(9) 平成28年度 本委員会の事業計画案の策定	10
(10) その他、技術振興事業	10

5. 国際委員会事業	1 1
(1) 2015年五地域ねじ協会交流大会への参加	1 1
(2) その他 五地域ねじ協会交流大会対応	1 1
(3) 海外ねじ業界(産業)との交流	1 1
(4) 海外ねじ関連企業工場見学	1 1
(5) 原産地規則、自由貿易協定、TPPに関する情報収集	1 1
(6) その他 国際関連情報の情報収集提供	1 1
(7) 国際委員会開催	1 1
(8) 平成28年度 本委員会の事業計画案の策定	1 1
(9) その他、国際協調・競争力強化関係事業	1 1
6. 取引委員会事業	1 2
(1) 経済産業省への協力	1 2
(2) 取引委員会開催(作業)	1 2
(3) 自民党への協力	1 2
(4) 取引関係講演会開催	1 2
(5) 消費税増税に伴う対応	1 2
(6) 政府の下請取引適正化対策の周知・対応	1 2
(7) 全国中小企業団体中央会取引関係委員会への協力	1 2
(8) 諸会合における取引に関する情報交換	1 2
(9) その他 適正取引に関する事業	1 2
II 部会事業	1 3
III 組織強化事業	1 4
(1) 魅力ある協会運営のための事業推進	1 4
(2) 経済情勢等に関する講演会開催	1 4
(3) 一般社団法人への移行後の事務処理作業	1 4
(4) 定款変更作業・制定並びに諸規程整備	1 4
(5) 政府経済対策等への対応	1 4
(6) ねじ関係団体との連携強化	1 4
(7) 中学生職場訪問への対応	1 4
(8) 会員企業の労務関係調査	1 4
(9) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供	1 5
(10) 団体保険制度対応	1 5
(11) その他	1 5
第3章 総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等	1 6
1. 総会、理事会、執行役員会	1 6
(1) 総会	1 6
(2) 理事会、執行役員会	1 6
2. 懇談会・工場見学会・懇親会 他	1 7
3. ねじ商工連盟総会	1 7
【平成27年度会員数推移】	1 8
【参考1】第3回社員総会議事録	1 9

第1章 平成27年ねじの生産・輸出入状況

(1) 生産（速報）（出所：当協会推計）

数量：289万トン（対前年比 1.6%減）

金額：8,348億円（対前年比 1.1%減）

数量・金額とも減少。

（過去最高－H19：数量334万トン・H19：金額9,005億円）

（参考－H21（リーマンショック）：数量222万トン、金額6,274億円）

(2) 輸入（出所：財務省貿易統計）

数量：23.4万トン（対前年比 6.2%減）

金額：921億円（対前年比 2.8%増）

数量減少、金額増加。金額では過去最高。

（過去最高－H25：数量25.4万トン・H27：金額921億円）

（主要輸入先国：中国、台湾、米国（数量3位：韓国））

(3) 輸出（出所：財務省貿易統計）

数量：31.5万トン（対前年比 4.2%減）

金額：2,764億円（対前年比 0.3%減）

数量減少、金額微減。

（過去最高－S52：数量38.1万トン・H26：金額2,772億円）

（主要仕向地：米国、中国、タイ）

（参考）需要業界生産動向

（出所：生産動態統計（輸送機械、電気・電子デバイス・情報通信機械、はん用・生産用・業務用機械））

(暦年)	四輪自動車		民生用電気 機械器具	民生用電子 機械器具	金属工作機械	
	万台	億円	億円	億円	万トン	億円
26年	977	191,522	8,325	6,930	45	11,769
27年	928	196,378	8,412	6,683	48	12,530
前年比	95.0%	102.5%	101.0%	96.4%	106.7%	106.5%

※ 生産は速報のため変更される可能性有り

第2章 事業活動

I 委員会事業

1. 政策委員会事業（相澤正己会長）

- (1) 以下の委員会・部会への活動強化のための諮問を実施して、協会事業の全体を統括
 - 事業推進5委員会 未来開発・パブリシティ委員会、資格委員会、技術委員会、国際委員会、取引委員会
 - 2部会 ソケットスクリー部会、ステンレスねじ部会
- (2) 協会活性化のための会員増強の推進
- (3) 決算・予算報告への諮問
- (4) 政策委員会(懇親会)開催
- (5) その他

2. 未来開発・パブリシティ委員会事業（藤田守彦委員長、勝亦良彰副委員長、高須俊行副委員長）

- (1) IT化された「会報ねじ」の有効活用
 - 会員の手による取材、原稿取り纏め(校正含む)、「会報ねじ」(記事掲載)ホームページによる発信
 - ・「会報ねじ」の記事のアップ状況 (H27.4月～H28年3月末(見込み含む)):20件
 - メルマガ配信の有効活用
 - ・これまでの内部向けに加えて外部向けメルマガ発信開始
 - ・メルマガ配信状況 (H27.4月～H28年3月末) 内部向け13件、外部向け8件
- (2) 未来開発・パブリシティ委員会活動
 - 正副委員長会(委員長、副委員長、事務局)を開催して基本方針や活動の具体化、今後の方向性等を検討
 - 未来開発・パブリシティ委員会(懇親会)の開催
(H27.7.3(金)15:00～(懇親会)/H27.8.25(金)14:00～、H27.10.21(水)13:00～於:機械振興会館)
 - ・業際(ねじ製造関連業界)とのネットワーク構築(業際向け配信等)に関する検討
 - ・協会創立55周年に向けた事業(以下2事業)の具体化/実施
 - MF-Tokyo2015への出展
 - 協会創立55周年記念ねじフォーラム(ワークショップ)の実施
 - ・その他 協会会員へのサービス向上並びに業界活性化のための活動に関する検討
 - これまで同様 Facebook グループ機能による同委員会の迅速な情報共有のさらなる推進
- (3) MF-Tokyo2015 出展
 - 出展準備委員会開催(昨年度設置)(高須俊行委員長)
(H27.4.7(火)/H27.5.13(水)14:00～於:機械振興会館)
 - ・出展ブース設営・パネル内容等の検討・決定、展示企画の展示内容の具体化の検討・決定(ボブスレー展示含む)、イベントプログラムの検討・決定(コマ大戦含む)、集客企画の検討・決定(クイズ、スタンプラリー)、事前PR・後パブ用当日の記録・来場者への記念品(ノベルティ)等の広報に関する検討・決定、当日運営(体制)検討・決定(当日スタッフ(説明者含む)協力依頼、当日必要備品・スタッフ弁当等準備 他)、その他出展内容の具体化作業
 - ・展示企画の展示企業への取材、当日配布チラシ制作、広報用ビデオ(DVD)制作、ねじPR用ロゴ「この世はねじでできている」制作(バッジ・ブース展示用垂幕 他)等への協力
 - ・設営・展示会主催者、展示設計施工業者、当日ブース内音響担当者、搬入搬出業者など実際の出展に係わる渉外作業、他出展・撤去作業対応・協力
 - ・独自出展会員企業、大田区(ボブスレー展示)等出展関係者との対応・協力
 - ・日本ねじ商業協同組合連合会等の関係団体、関係報道各社等への広報(来場広報依頼)
 - MF-Tokyo2015 出展(※1)
 - 展示会正式名: プレス・板金・フォーミング展(MF-Tokyo2015)
 - 会 期: H27.7.15(水)～18(土)10:00～17:30(最終日は16:00)
 - 会 場: 東京ビッグサイト 東1,2及び3ホール
 - 主 催: (一社)日本鍛圧機械工業会、日刊工業新聞社
 - 当協会出展ブース: 東2ホール、小間番号63番
 - ブース来場者: バーコード登録ベース:1,462名

- 出展結果
出展に係わる成果(物)として、共同展示のノウハウ蓄積、
広報ビデオ(DVD) (会員企業に1枚、その他希望者に配布済)、
ねじPR用ロゴ「この世はねじでできている」(商標登録出願済)(今後会員は広報等で使用可能)、
来場者のメール登録(バーコード/名刺)によりメルマガ登録者:1,000名を突破 他多数
- 展示内容(順不同)

日本のねじづくりは「種子島」からはじまりました	十字穴が傷まなければ服も傷まない
ゆるまないのに戻しやすい	機能・性能+楽しい! / 競技用自転車
ねじを組み込むだけで精度が上がる	うっかり水没! から携帯を救う
雨風にも負けない	家電の性能もデザイン性も
人口衛星を軌道に届けて送り出す	地に足つけて ふんばってます
僕の足にはボルトが入っているんだ	「ずりおちてイライラ」なんてことはない
砂粒かと思いきや・・・	最初是一片の板でした
軽くなるとエコになる	モノづくりの力が結集した「下町ボブスレー」
ねじが切られていないと緩まない?	六角ボルトの本体規格品/附属書品(配布)

○ セミナー/イベント

日付 イベント名・時間・講師	日付 イベント名・時間・講師	日付 イベント名・時間・講師	日付 イベント名・時間・講師
27.7.15(水)	27.7.16(木)	27.7.17(金)	27.7.18(土)
ねじ耐蝕試験セミナー 11:00~11:30 講師:ケーエム精工㈱ 代表取締役会長 北井 敬人 氏			
ボルト・ナット JIS セミナー 13:00~13:30 講師:(一社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯 義和 氏	ボルト・ナット JIS セミナー 13:00~13:30 講師:同左	ボルト・ナット JIS セミナー 13:00~13:30 講師:同左	全日本製造業コマ大戦 13:00~15:30
Dr.ラーセンの締め付け実験教室 13:30~14:00 講師:㈱平戸製作所 代表取締役社長 平戸 眞澄 氏	Dr.ラーセンの締め付け実験教室 13:30~14:00 講師:同左		
Dr.ラーセンの締め付け実験教室 15:00~15:30 講師:同上	Dr.ラーセンの締め付け実験教室 15:00~15:30 講師:同左	日本ねじ工業協会こま対戦 14:00~16:30	
ねじ耐蝕試験セミナー 16:00~16:30 講師:同上			

(4) 協会創立 55 周年記念ねじフォーラムの実施

- フォーラム準備委員会立ち上げ(勝亦良彰委員長選任)/開催
(H27. 8. 20(木)名鉄グランドホテル、H27. 10. 5(月)/H27. 10. 20(水)於:品川シーズンテラス)
 - ・会場選定検討・決定、フォーラム企画の具体化の検討・決定(基調講演、ワークショップ、懇親会に関する検討・決定 他)、ワークショップの具体化に関する検討・決定(参加者募集、グループリーダー選任/就任依頼、サポート委員(世話係)・連絡係の選任 他)、事前PR・後パブ用当日の記録等広報に関する検討・決定、当日運営(体制)検討・決定(司会・会場誘導者等当日運営体制、当日必要備品・弁当等準備 他)、他フォーラム(ワークショップ)内容の具体化作業
 - ・フォーラム(ワークショップ)開催に向けた作業(以下参照)への協力
ワークショップ参加希望者に対する情報発信並びに関心事等の情報収集
参加希望者からの情報の集約並びにそれに基づくグループ分けの検討・決定
基調講演に関する具体化の検討・決定(基調講演の講演数・講演時間・講演内容、講演依頼 他)
その他 フォーラム(ワークショップ)を円滑に進めるための当日運営・進行方法等の検討・決定
 - ・フォーラム(ワークショップ)のテーマ決定
基 調 講 演:「ねじの未来をつくる」(会員3社の取組み)
ワークショップ:「ねじが開く未来を発信しよう！」

- ねじフォーラムの開催 (※1)
 - 開催日：平成 27. 11. 6(金)
 - 開催場所：品川シーズンテラス
 - 狙い：・イベントの成果を対外的に発信し「ねじの地位向上」の一助とする
 - ・ねじの次代を引き継ぐ後継のため、ネットワーク形成の一助とする。
 - 内容：11:00 開会挨拶
 - 11:10 基調講演 ー未来をつくる新しい取組みー セミナー (3 題)
 - ・テーマ：「女性技術者の採用と現場に起こった変化」
講師：興津螺旋(株) 代表取締役社長 柿澤 宏一 氏
 - ・テーマ：「当社が広報に力を入れる理由」
講師：日東精工(株) 企画室長 荒賀 誠 氏
 - ・テーマ：「市場の要求に応えるものづくりへの挑戦」
講師：(株)中島田鉄工所 代表取締役社長 中島田 正宏 氏
 - 13:00 ワークショップ
 - 16:15 ワークショップ 各グループ発表
全体講評
記念撮影
 - 17:00 懇親会
- 開催結果
 - ・フォーラム参加者:71 名(ワークショップ参加者)を含む総勢約 100 名
 - ・ワークショップ参加者に対するアンケート実施 (※1)
結果：「様々な立場や役割の方と交流し話し合いができて良かった」等の声多数
- ワークショップ 各グループ発表

グループ	テーマ
Aグループ	新市場の開拓
Bグループ	ねじ業界の地位向上とはどうなる事か
Cグループ	ねじ業界のイメージアップ
Dグループ	ねじ産業の発展にとって各企業が出来ること
Eグループ	10 年後を見据えて (三人集まれば文殊の知恵)
Fグループ	人材育成と市場開拓のサイクルが次世代を救う
Gグループ	10 年後のねじ・ものづくりの為にすべきこと
Hグループ	20 年後のねじ業界を担う人材の為に
Iグループ	人材育成について
Jグループ	10 年後を見据えた人材育成
Kグループ	若者のねじ産業へのイメージアップ

- (5) 創立 55 周年記念誌の発行
 - MF-Tokyo2015 への出展／協会創立 55 周年記念ねじフォーラム(ワークショップ)の実施の後パブとして、創立 55 周年記念誌「ねじ」を発刊 (1,000 部)
 - 55 周年記念誌を、会員を含め関係者に配布予定

※1 詳細は、創立 55 周年記念誌「ねじ」参照
- (6) 協会内の E メール情報網構築推進活動
 - 委員による積極的な登録推進活動の推進
 - ・窓口責任者登録率:98.0% (企業数 193/197 社)(H28.3 月末日現在)
 - メルマガ読者登録推進活動の推進
 - ・内部メルマガ読者登録数:705 人(正副窓口責任者含む)、外部登録数:1,068 名、
合計:1,773 名(H28.3 月末日現在)
- (7) JIS 本体規格製品(六角ボルト・六角ナット)の普及促進活動のフォローアップ
 - ・昨年度作成の「附属書品から本体規格品への切り替えガイド」
ダウンロード用・告知(協会内)ホームページのさらなる普及・PR
 - ・MF-Tokyo2015 における JIS 本体規格製品(六角ボルト・六角ナット)の普及・PR
MF-Tokyo2015 における六角ボルトの
本体規格品(比較のため附属書品も同時に展示・配布)の展示・配布及び
昨年度作成の「附属書品から本体規格品への切り替えガイド」の配布／
切り替えガイドに関する
講演会(学会テクニカルセミナー・展示ブース内セミナー)等による普及・PR

- (8) 国立科学博物館の産業遺産調査結果の活用促進
- ・昨年度公表した協会内ホームページ協会からのお知らせ
「国立科学博物館による産業技術資料の所在調査結果発表について」のさらなる普及・PR
 - ・さらなる活用促進のために、月刊誌「ツールエンジニア」(大河出版)の特集記事「ねじ機械の歴史」に関する同産業遺産登録データの借用・転載依頼への対応(転載許可願・産業遺産登録企業への確認・高解像写真提供依頼等)／
転載記事掲載(H27年7月号)
- (9) 五地域ねじ協会交流大会で使用する大会ロゴの提案について
同交流大会で使用する大会ロゴマークの作成に関して、当協会からもその案の提案をすることになったことから、国際委員会からのその案作成に関する検討依頼を受けその準備を実施
- (10) 上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業
- 年頭所感・ねじの日挨拶等の会報「ねじ」発表(協会ホームページ)対応
 - その他 協会ホームページの更新
 - 生産統計の作成(メールを活用した収集)／発表
 - 輸出入統計、主要国のねじ貿易統計の作成／発表
 - 「ねじの日」記念事業
 - ・ねじ関係報道各社(2紙)へのねじの日及び当協会PR広告掲載
 - ・ねじの日記念「リキッドボールペン」(日本ねじ商業協同組合連合会 企画・販売)の頒布斡旋
(当協会受注:24個)(H28.6.1ねじの日記念事業)
 - 官公庁、その他関連団体などからの業界関連情報の収集・提供
 - 官公庁、その他関連団体などからの調査(情報収集)依頼及び情報提供依頼への協力
 - メール及びホームページ等のツールを活用した会員との双方向の情報収集／提供の実現検討
 - TV局、報道各紙・誌、他業界などからのねじ・業界・当協会に関する取材／問合せへの対応
 - ・大磯義和専務理事のTV出演依頼対応／出演(H27.4.12(日))／紹介・PR
 - ・会員企業／ねじ関係報道等のTV出演(紹介)の紹介・PR
 - ・ねじ関係(関連)書籍のホームページ等での紹介・PR
 - その他
 - ・その他 会員並びに業界(関連)情報の収集・提供
 - ・その他 当協会・会員・業界(関連)情報の広報／周知(PR)活動
- (11) 平成28年度 本委員会の事業計画案の策定協力

3. 資格委員会（椿省一郎委員長、佐藤義則副委員長、北尾八三一副委員長）

- (1) 資格委員会事業に係わる事業内容(計画)の具体化の審議、決定、同事業推進
- (2) 正・副・主席検定員会議 (H27. 10. 28(水)9:30~/H28. 2. 23(火)11:00~/於:機械振興会館)、
検定委員会開催 (H27. 4. 7(火)、5/8(金)、6. 9(火)、6. 25(木)、7. 7(火)、7. 23(木)、9. 15(火)、
10. 1(木)、10. 27(火)、11. 25(水)、12. 3(木)、H28. 1. 28(木)、3. 3(木)
於:機械振興会館、AP名古屋. 名駅、ホテル日航大阪 他)
- (3) ねじ製造技能検定講習会及び協会認定で使用するハンドブックの拡充・改訂作業
 - 昨年度(H26年度)に改訂作業を実施した同テキストを「ねじ製造技能検定ハンドブック」として発行、ねじ製造技能検定講習会受講者へ頒布
 - ・製造編の最終テキスト改訂会議開催 (H27. 4. 16(木)11:00~/於:関西支部会議室)
 - ・講習会講師用原稿以外の原稿作成(表紙、序にかえて、刊行のことば、用語の統一 他)
 - ・最終校正並びにWordファイルからのPDFファイル化作業
 - ・PDFファイルの最終チェック並びに講師への最終確認
 - ・ねじ製造技能検定ハンドブックの装丁検討・決定(バインダー作成含む)
 - ・印刷/発行(200冊-それ以外にバインダーのみ200個作成)/受講者への受け渡し
 - ・講習会開始後の対応(目次の作成、目次及び章区切り用インデックスの受講者への配布)
 - H28年度に向けたさらなる改訂作業
 - ・ページ番号の振り直し及び誤記等の修正
 - ・図/表の見直し、表現の統一、誤解を招く表現等の(による)修正
 - ・執筆者への修正依頼を実施した結果の修正
- (4) ねじ製造技能検定(協会認定)を国家検定化するための検討
 - 国家検定化に向けた1級試験及び3級試験内容検討並びに作業試験の拡充検討
 - 実機実技(作業)試験トライアルの実施
 - H27. 5. 8(金)実機実技(作業)トライアル
(2ダイ2ブロー使用-製品:フランジ六角ボルト)(於:㈱メイドー-愛知県豊田市)
 - H27. 6. 25(木)実機実技(作業)試験トライアル
(4ダイ4ブロー使用-製品:フランジ六角ナット)(於:㈱杉浦製作所-愛知県西尾市)
 - H27. 7. 23(木)実機実技(作業)試験トライアル
(1ダイ2ブロー使用-製品:ボタンボルト)(於:㈱丸エム製作所-大阪府大東市)
 - H27. 11. 25(水)~26(木)実機実技(作業)試験トライアル
(2ダイ2ブロー使用-製品:フランジ六角ボルト)(於:㈱サトーラシ-埼玉県児玉市)
※ 26(木):厚生労働省担当官、経済産業省担当官 視察
 - 厚生労働省、経済産業省との対応(視察対応・ヒアリング等)
 - 検定創設に必要となるJAVADA等関係諸団体との対応並びに他技能検定内容調査、
検定化に向けた諸手続き・具体的取組等の検討、検定関係諸規定の整備(見直し)、
その他 国家検定化に向けた作業
- (5) ねじ技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)の実施
 - ねじ製造技能検定講習会の実施に向けた取組み
 - ・受講対象者を全ての方とするように対象拡大検討・実施(本年度より対象拡充)
 - ・講習会で実施する効果測定用の試験の検討・決定
(学科試験の効果測定試験の検討、講師への作成依頼・取り纏め作業)
 - ・テキスト改訂(ねじ製造技能検定ハンドブック発行)に伴う講習内容との調整及び
講習会で使用するパワーポイントの見直し依頼
講習会講師(基礎編)との会議(講師へのパワーポイント見直し依頼)
(H27. 6. 9(火)14:00~/於:名古屋 キャッスルプラザ)
講習会講師(製造編)との会議(講師への見直し依頼)
(H27. 7. 7(火)14:00~/於:機械振興会館)
 - ・ねじ製造技能検定関係反省会(慰労会)の開催
開催日:H27. 4. 7(火)15:30~/ (慰労会16:30~)
場 所:ホテル日航大阪
 - ・ねじ製造技能検定講習会反省会(慰労会)の開催
開催日:H27. 10. 27(火)15:00~/ (慰労会16:30~)
場 所:機械振興会館

○ ねじ製造技能検定講習会の実施

- ・ 関東、中部、関西で、地域毎 3 回の講習会を開催（地域毎に同一日に開催）

日程	第 1 回目 H27. 8. 27(木)	
	第 2 回目 H27. 9. 29(火)	
	第 3 回目 H27. 10. 22(木)	
実施場所	関東 於:東京 機械振興会館	受講者 56 名
	中部 於:名古屋 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)	受講者 41 名
	関西 於:大阪 天満研修センター	受講者 52 名
カリキュラム	次々頁カリキュラム 1~3(計 3 日)で 1 セット(地域毎 1~3 を交替で実施) (ねじ製造技能検定講習会カリキュラム 以下参照)	
受講料	30,000 円(3 日間)-学科 10,000 円/実技 15,000 円	テキスト代 10,000 円
但し 当協会会員	10,000 円(3 日間)-学科 5,000 円/実技 5,000 円	テキスト代 5,000 円
〃 協会所属組合員	15,000 円(3 日間)-学科 7,500 円/実技 7,500 円	テキスト代 7,500 円

《ねじ製造技能検定講習会カリキュラム》

	時間	テーマ	講師
カリキュラム 1 8.27 関東 9.29 中部 10.22 関西	9:20~10:00	ねじの基礎について	(一社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯義和 氏
	10:10~11:20	ねじ用材料とその熱処理	大阪精工(株) 常務取締役 古賀浩介 氏
	11:30~12:30	品質管理と検査	㈱フセラン 関東・中部:品質管理部次長 主幹 吉岡正澄 氏 関西:主査 高河原直樹 氏
	13:30~14:20	表面処理について	日本表面化学(株) 常務取締役 山室正明 氏
	14:30~15:00	安全衛生について	日産ネジ(株) 製造課長 土居貴志 氏
	15:10~16:10	効果測定試験	
カリキュラム 2 8.27 関西 9.29 関東 10.22 中部	9:20~11:40	冷間工程設計、電気、圧力関係、ボルト 生産設備およびボルト冷間圧造加工機 の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	㈱エーオー 取締役 サービス技術部長 松浦富康 氏
	12:40~14:40	ナット生産設備およびナット冷間圧造加 工機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	㈱阪村機械製作所 技術部課長 遠藤信幸 氏
	14:50~16:45	ねじ転造、ねじ転造設備及びねじ転造生 産設備の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	㈱三明製作所 常務取締役 谷口正樹 氏
カリキュラム 3 8.27 中部 9.29 関西 10.22 関東	9:20~11:10	ナットタッピング生産設備及び ナットタッピング機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	東京タッピングマシン(株) 部品設計主任 太田譲 氏 ㈱野村工具製作所 製造部次長 林達志 氏
	11:20~11:50	圧造油について	スギムラ化学(株) チームリーダー 山口直樹 氏
	12:50~14:45	ねじの製図講習 (JIS に準じたボルトの製図方法及び ボルト製品の作図実習)	関東:㈱互省製作所 設計課長 情野克也 氏 中部:㈱メイドー 調達課主幹 松島敏之 氏 関西:㈱丸エム製作所 品質保証部長 出羽弘 氏
	14:55~16:50	ボルトの測定講習 (JIS に準じたボルトの測定方法及び ボルト製品の測定実習)	㈱ミツトヨ 関東:南関東営業 1 課 松井孝夫 氏 中部:中部営業部 流通営業課 西山 剛史 氏 関西:関西営業 1 課 副主査 森田宏隆 氏 ㈱メイドー 品質保証部品質保証課係長 藤本晃生 氏

○ ねじ製造技能検定(協会認定)の実施に向けた取組み

- ・ ねじ製造技能検定(協会認定)の受検資格等の基本事項について検討・見直し
結果 2 級のみ、受検資格:実務経験 3 年以上、
受検対象者:上記受検資格を満たす全ての方(本年度より対象拡充)
- ・ ねじ製造技能検定(協会認定)実施に向けた活動計画の検討・決定
- ・ ねじ製造技能検定(協会認定)を実施運営に携わる検定員増強、委嘱に関する作業
- ・ ねじ製造技能検定(協会認定)1 級創設のための検討・準備作業
- ・ 学科試験、実技試験の試験基準・合格基準・作業試験の評価基準等の確認/見直し
- ・ 学科試験の確認・検討・問題内容の見直し・試験問題作成
- ・ 実技試験(要素試験)の確認・内容見直し、試験問題作成
- ・ 実技試験(作業試験)内容・試験問題確認・見直し、試験問題作成
測定試験の一部変更(リングゲージを使用した測定から測定用ナットを使用するように変更)

- ・実技試験の作業試験に対するチェック項目の再検討・チェックシートの見直し
- ・実技試験の作業試験に対する検定員のレベル合わせ・評価技能向上(確認)
 模擬実技試験の実施 (H28. 2. 10(水)11:00～於:機械振興会館)
 検定員レベル合わせ・評価技能向上(確認)研修会の開催
 (H28. 2. 10(水)13:30～於:機械振興会館)
 検定当日の担当分け等の3地域別検定会開催
 (H28. 2. 10(水)15:30～於:機械振興会館)
- ・関東・中部・関西同日(同時間)実施体制の確認・検討・見直し
- ・作業試験の試験サンプル、測定器等 試験に必要な備品等の準備
- ・ねじ製造技能検定(協会認定)当日の試験段取り(プログラム)の検討・準備
- ねじ製造技能検定(協会認定)の実施
 - ・関東、中部、関西の3地域同日同時間によるねじ製造技能検定(協会認定)実施
 (昨年度一部合格者は一部合格済試験を免除)

試験日:H28. 2. 18(木)

関東-於:東京	機械振興会館	受検者 41名
中部-於:名古屋	愛知県産業労働センター(ウイंकあいち)	受検者 28名
関西-於:大阪	天満研修センター	受検者 54名
受検料:	学科試験:8,000円/実技試験:20,000円	
但し 当協会会員	学科試験:5,000円/実技試験:10,000円	
但し 協会所属組合員	学科試験:6,500円/実技試験:15,000円	

<受検カリキュラム>

9:45	実技試験受付開始	10:15	着席完了
10:30	実技試験開始 (途中作業試験と要素試験の入換え時間あり)		
	・作業試験:60分		
	・要素試験:60分		
13:00	実技試験終了 (昼食)		
13:30	学科試験受付開始	13:50	着席完了
14:00	学科試験開始 (学科試験:60分)		
15:00	学科試験終了		

- ・ねじ製造技能検定(協会認定)の採点/可否判定/次年度に向けた改善点確認
 (可否判定会議:H28. 3. 3(木)11:00～於:機械振興会館)
 受検者123名中、合格者53名、一部合格者 学科試験38名、実技試験4名
- ・ねじ製造技能検定(協会認定)の合格者受検番号を協会ホームページで公表
- ・ねじ製造技能検定(協会認定)合格証、一部合格証送付、その他 合格者(一部含む)対応
- ・ニュースリリースの発表
- (6) 職業能力評価基準の活用促進事業推進
 ねじ製造業の職業能力評価基準並びに活用促進ツール類のさらなる活用促進・普及活動推進検討
- (7) 資格委員会開催 (H27. 12. 3(木)13:00～於:ホテル日航大阪)
- (8) 平成28年度 本委員会の事業計画案の策定
 - ねじ製造技能検定講習会 (各地域3回) (予定)
 - H28. 8. 25(木) 東京、名古屋、大阪 (3ヶ所)
 - H28. 9. 29(木) 東京、名古屋、大阪 (3ヶ所)
 - H28. 10. 27(木) 東京、名古屋、大阪 (3ヶ所)
 - ねじ製造技能検定(協会認定) (予定)
 - H29. 2. 16(木) 東京、名古屋、大阪 (3ヶ所)
- (9) その他、資格制度に関する事業
 - ねじ製造技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)の事務処理
 (日程調整、広報、案内、会場確保、会場準備、受検(講)受付処理、
 受検(講)票送付、データ処理 他)
 - 資格委員会事業の体制(整備)拡充及び事務処理体制整備の検討

4. 技術委員会事業（長谷川裕恭委員長）

(1) 技術講習会（研修会）及び技術関係視察／工場見学会等の開催

○ 技術講習会／講演会／セミナー

- ・ JIS 規格改正に関するセミナー

（学会テクニカルセミナー H27. 7. 18(土)14:00～於:東京ビッグサイト／
出展ブース内セミナー H27. 7. 15(土)～17(金)13:00～於:東京ビッグサイト）

テーマ:「六角ボルト・ナットの切替えガイド」

講師:日本ねじ研究協会／(一社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯 義和 氏

- ・ 五地域ねじ協会交流大会本会議における講演 (H27. 10. 12(月)14:30～於:香港展覧会議中心)

テーマ:「日本のねじ生産技術」

講師:日本ねじ研究協会／(一社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯 義和 氏

- ・ ISO/TC2(締結用部品)議長の講演会・懇親会開催（日本ねじ研究協会との共催）

(H27. 10. 29(木)講演会 15:00～、懇親会 17:00～於:機械振興会館

参加者数 ねじ協:21名、ねじ研:33名)

テーマ:「ドイツねじ協会の活動」

講師:ドイツねじ協会ゼネラルマネージャー

ISO/TC2(締結用部品)国際議長

ステファン バイヤー氏 (Dr.-Ing. Stefan Beyer)

- ・ 幾何公差の講習会開催（日本ねじ研究協会との共催）

(H28. 2. 3(水)14:00～於:機械振興会館 参加者数 ねじ協:77名、ねじ研:36名)

テーマ:「ねじ部品の幾何公差とその解釈について」

講師:いすゞ自動車㈱

CAE デジタル開発推進部デジタル推進グループ 大林 利一 氏

- ・ 「ねじ製造技能検定創設に向けた講習会」開催（資格委員会事業）

○ 工場見学会

- ・ (株)神戸製鋼所 高砂製作所 見学会 (H27. 6. 16(火)14:40～) (関西支部事業)

- ・ 新日鐵住金ステンレス(株) 光製造所 見学会 (H27. 12. 17(木)13:30～) (ステンレスねじ部会事業)

○ その他視察／研究報告会

- ・ トヨタ博物館/トヨタ産業技術記念館見学会 (H27. 7. 10(金)13:00～) (中部支部事業)

- ・ 総務省 消防庁消防研究センター見学会／研究報告会 (H27. 12. 9(水)14:00～) (関東支部事業)
研究報告会

テーマ:「消防防災とロボット技術」

講師:特別上席研究官 天野 久徳 氏

(2) ねじに関する安全啓発事業 ○ 広く一般向けのねじの安全啓発事業実施に関する検討

(3) 圧造技術スクール (FTS) の開催 (旭サナック株式会社と共催)

平成 27 年度は、下記のとおり工程設計コース 4 回、金型設計コース 2 回の計 6 回開催し、計 138 名が参加した。

開催日	内容	開催場所 参加者数
第 139 回 27.6.17～19	工程設計コース	旭サナック(株)圧造技術センター 参加者 24 名
第 140 回 27.9.16～18	金型設計コース	〃 参加者 24 名
第 141 回 27.10.14～16	工程設計コース	〃 参加者 24 名
第 142 回 27.12.16～18	工程設計コース	〃 参加者 24 名
第 143 回 28.2.8～10	工程設計コース	〃 参加者 23 名
第 144 回 28.3.16～18	金型設計コース	〃 参加者 19 名

(4) JIS/ISO に関する事業

- 周知用リーフレット並びに六角ボルト(JIS B 1180)・六角ナット(JIS B 1181)の
本体規格製品の普及・P R・啓発活動
 - ・ MF-Tokyo2015 における六角ボルトの本体規格品の展示・配布
(比較のため附属書品も同時に展示・配布)及び
同リーフレット(昨年度作成の「附属書品から本体規格品への切り替えガイド」)の配布/
切り替えガイドに関する講演会(上記参照)等によるその他、普及・P R
 - ・ 海外業界誌、関係団体会誌、その他工業系雑誌等への
切り替えに関する解説・普及・P R 投稿
 - ・ 関係業界(企業)(NTT、JR 関係)への切り替え要望説明実施
 - ・ ねじ商工連盟総会並びに当協会理事会／執行役員会における啓蒙普及の取組み説明
 - ・ 同リーフレット入手希望企業への頒布並びにその他、普及・P R・啓発活動
 - ・ 経済産業省への報告／協力依頼等実施及び
関係団体((一社)公共建築協会)等への切り替え説明実施
 - JIS 普及委員会開催
 - ・ 同委員会開催準備 (JIS 検討委員会開催) (H27. 4. 2(木)14:00～於:関西支部会議室)
 - ・ 同委員会開催 (H27. 6. 17(水)14:00～、9. 2(水)14:00～、11. 24(火)15:30～於:関西支部会議室)
同委員会によりさらなる切り替え普及・P R 及び
それに伴う課題の解決(対応)策を検討・取り纏め
 - 六角ボルト・六角ナットの本体規格品の供給体制に関する調査及び製造者識別記号の調査
 - ・ 「六角ボルト・六角ナットの本体規格品の供給可能状況調査について」を実施
 - ・ 「六角ボルト・六角ナットの製造者識別記号の登録について」の調査を実施
 - ・ 上記、供給可能状況調査結果を「六角ボルト・六角ナット(JIS B 1180・JIS B 1181)
本体規格品の供給先企業一覧について」として取り纏め、協会ホームページで公表及び
同一覧を関係先(需要業界など)に配布／P R・普及説明
 - ・ 上記、製造者識別記号の登録調査結果に基づき
「六角ボルト・六角ナットの製造者識別記号一覧」を作成
 - 公共建築関係作業 (対応)
 - ・ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成 28 年版 改正要望作業 (対応)
 - ・ 建築工事監理指針(平成 28 年版) 改正要望作業 (対応)
 - ・ 建築基準法に基づく大臣認定の見直し対応 (国土交通省とのヒアリング等)
 - その他 JIS 規格に関する情報提供／P R・周知 (日本ねじ研究協会との連携)
 - ・ 関西ねじ協同組合への ISO に関する説明実施 (H27. 4. 23(木)15:15～於:関西支部会議室)
テーマ:「ISO 規格提案の手順と対応」
講師:(一社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯 義和 氏
 - ・ ステンレスねじの不動態化処理に関する実態調べ (ステンレスねじ部会員対象)
 - ・ JIS の制定・改正に関する情報提供、JIS 規格に関する問合せ等への対応並びに周知、普及・P R
- (5) サポートインダストリー振興事業
- 会員啓発のための作業
 - 公募関係案内等の会員への情報提供等の活用促進対応
 - 申請作業に関する会員へのサポート対応
- (6) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業
- 化学物質管理規制(海外含む)、省エネ・温暖化対策等に関する情報収集、その他環境対策対応
- (7) ねじ入門書(CD版)の頒布、ねじ読本のCD版作成作業及び完成CD版の頒布
- (8) 技術委員会開催 (H28. 2. 23 日(火)14:00～於:機械振興会館)
- (9) 平成 28 年度 本委員会の事業計画案の策定
- (10) その他、技術振興事業

5. 国際委員会事業 (大川克良委員長)

(1) 2015年五地域ねじ協会交流大会(於:香港)への参加

以下のとおり、五地域ねじ協会交流大会に参加

<大会概要>

日 程: 10月11日(日)~10月12日(月)、13日(火)は日本単独企画

場 所: 香港 湾仔(工場見学:中国 広東省)

交流大会会議会場:香港展覧会議中心

歓迎晚餐会会場:香港仔珍寶海鮮舫

工場見学先: 東莞皇冠螺絲有限公司(クラウン精密工業(株) 関連工場)(広東省東莞市)

愛瑪納克(東莞)高檔五金有限公司(田中熱工(株) 関連工場)(広東省東莞市)

参 加 者: 一般社団法人日本ねじ工業協会 30名

香港螺絲業協会 65名

韓国 Fastener 工業協同組合 16名

中国機械通用零部件工業協会緊固件分会 39名

台灣區螺絲工業同業公會 41名

合計 191名(報道2名/事務局含む)

大会構成: 10/11(日)- 代表者会議

12(月)- 交流大会本会議

(大磯義和専務理事の講演(技術委員会事業)含む)

懇親晚餐会

13(火)- 工場見学会(日系メーカー:上記工場見学先参照)

14(水)- 帰国

※ 来年の開催地は韓国 濟州島に決定した

(2) その他 五地域ねじ協会交流大会対応

- 2016年五地域ねじ協会交流大会(於:韓国 濟州島)への参加準備

(参加募集(代理店決定)/公式以外の行事検討/その他 大会関係調整等(翻訳含む)作業)

- 五地域ねじ協会交流大会の日本開催(H29年度)における開催形式等の検討

- 海外ねじ協会(韓国 FASTENER 工業協同組合、台灣區螺絲工業同業公會)に対する

大会開催形式変更の意向確認

- 五地域ねじ協会交流大会で使用する大会ロゴマークの提案準備

2015年同交流大会代表者会議の席上、交流大会で使用するロゴマークの作成が決定され、そのロゴマーク案に関して各地域それぞれが提案することになったことから、当協会案の作成について、未来開発・パブリシティ委員会へ検討を依頼する等 提案準備(対応)を実施

(3) 海外ねじ業界(産業)との交流

- ドイツのねじ業界との交流(日本ねじ研究協会との連携事業)

・「ドイツねじ協会の活動」に関する講演会開催/

ドイツねじ協会ゼネラルマネージャーとの懇親(交流)会開催(技術委員会事業)

・上記、講演会に関する同時通訳等国際会議対応

通訳者及び同時通訳機材の手配等のために国際会議サービス業者の検討・決定

同サービス業者との渉外対応・同講演会実施協力、

会場(機械振興会館)との同時通訳ブース設置等のための渉外対応

- 海外ねじ関係情報誌を通じた情報収集/提供(交流)(台湾並びにイタリア)

台 湾(雑誌名): Fastener World

イタリヤ(雑誌名): Italian Fasteners

(4) 海外ねじ関連企業工場見学

日系ねじメーカー(2社)工場見学(中国)(上記、五地域ねじ協会交流大会 参照)

ステンレスねじメーカー(1社)工場見学(マレーシア)(ステンレスねじ部会事業)

(5) 原産地規則、自由貿易協定、TPPに関する情報収集(次頁<参考>参照)

日本及び諸外国間のFTA/EPA協定締結状況、運用状況、TPP情報、原産地規則等

の情報収集提供

(6) その他 国際関連情報の情報収集提供

(7) 国際委員会開催(H28.2.16(火)14:00~於:機械振興会館)

(8) 平成28年度 本委員会の事業計画案の策定

(9) その他、国際協調・競争力強化関係事業

<参考> 日本における EPA/FTA/TPP の状況について		
シンガポール	2007年9月	発効 (改正議定書)
メキシコ	2012年4月	発効 (改正議定書)
マレーシア	2006年7月	発効
チリ	2007年9月	発効
タイ	2007年11月	発効
インドネシア	2008年7月	発効
ブルネイ	2008年7月	発効
フィリピン	2008年12月	発効
アセアン全体 (AJCEP)	2008年12月～	
	2010年7月迄	順次発効 (物品貿易等について)
(サービス・投資について)	2013年12月	実質合意
スイス	2009年9月	発効
ベトナム	2009年10月	発効
インド	2011年8月	発効
ペルー	2012年3月	発効
オーストラリア	2015年1月	発効
モンゴル	2015年2月	署名済
カナダ		交渉中
コロンビア		交渉中
日中韓		交渉中
EU		交渉中
東アジア地域包括的経済連携 (RCEP)		(日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランド)
		交渉中
トルコ		交渉中
GCC(湾岸協力理事会)加盟諸国		(サウジアラビア、クウェート、UAE、バーレーン、カタール、オマーン)
		交渉延期
韓国		交渉中断中
TPP (環太平洋パートナーシップ)	2015年10月	大筋合意
		(シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ、アメリカ、オーストラリア、ペルー、マレーシア、メキシコ、カナダ、日本 (2013年7月参加) の計12カ国が交渉に参加)

6. 取引委員会事業 (樫本隆之委員長)

- (1) 経済産業省「自動車取引適正化研究会」への協力
 - 自動車産業適正取引ガイドラインのフォローアップ調査協力(実施)／集計作業
 - 同研究会委員推薦 (委員:樫本隆之取引委員長・副会長)
 - 第7回同研究会出席／発言(H27. 11. 16(月)13:00～於:経済産業省)
- (2) 取引委員会開催 (作業)
 - 取引委員会委員登録作業
 - 第一回取引委員会開催／「競争法(独禁法)コンプライアンス体制整備」に関する説明会開催
(H27. 8. 28(金)14:00～於:機械振興会館 参加者数:22名)
テーマ:「競争法コンプライアンス体制整備に向けた取組について」
講師:経済産業省 経済産業政策局 競争環境整備室 小池 麻友子 氏
- (3) 自民党 中小企業・小規模事業者政策調査会下請中小企業・小規模事業者対策小委員会への協力
同小委員会への出席／発言(H28. 3. 11(金)8:00～於:自民党本部)
- (4) 取引関係講演会開催
 - 講演会開催 (H27. 12. 3(木)16:00～於:ホテル日航大阪 参加者数:67名)
(中小企業庁適正取引推進講習会 事業)
テーマ:「業種横断の下請ガイドラインの概要と違反事例紹介」
講師:弁護士 中山 貴博 氏
 - アンケート回収／講習会事務局への報告等後フォロー
- (5) 消費税増税に伴う対応 (政府からの情報周知・対応、会員の対応状況等情報収集／提供)
- (6) 政府の下請取引適正化対策の周知・対応
(業種別下請適正取引等の推進のためのガイドラインの周知並びに業界取組みの説明対応、活用状況等の情報収集、その他 取引の適正化に係わる情報の情報収集・提供)
- (7) 全国中小企業団体中央会取引関係委員会への協力
取引問題委員会委員推薦／出席／発言 (委員:相澤正己会長)
- (8) 諸会合における取引に関する情報交換
- (9) その他 適正取引に関する事業

II 部会事業

○ 部会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	(第一回) 27. 6. 18 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者:11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・海外市場視察団派遣について ・工場見学会について ・ステンレスねじの市況状況等について
	(第二回) 27. 9. 14 15:00～17:00 大阪:関西支部会議室 参加者:11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・マレーシアの市場調査について ・工場見学会実施について ・ステンレスねじの市況状況等について
	(第三回) 27. 12. 17 15:30～16:30 山口:新日鐵住金 ステンレス(株)光製造所 会議室 参加者:10名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・マレーシアの市場視察団派遣について ・ステンレスねじの市況状況等について
	(第四回) 28. 3. 24 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者:9名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・マレーシア市場調査(視察団派遣)結果報告について ・平成28年度部会事業計画(案)・予算(案)について ・ステンレスねじの市況状況等について

○ 懇親会

	日時・場所 参加者数	内容・その他
ソケットスクリュー部会 (椿省一郎部会長)	28. 1. 21 17:00～19:00 東京:東京會館 参加者36名	・賀詞交歓会(日本ソケットスクリュー工業協同組合との共催)

○ 工場見学及び海外市場視察

	日時・場所 参加者数	見学先・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	27. 12. 17 工場見学 13:30～15:30 部 会 15:30～16:30 懇 親 会 17:15～18:45 参加者数:12名	新日鐵住金ステンレス(株)光製造所(山口県光市) ・ステンレス鋼材製造工場 ≪部 会≫ 上記参照 ≪懇親会≫ 会場:藤吉(徳山駅前)
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	28. 2. 16～2. 18 マレーシアのステンレス ねじ市場視察団派遣 訪問都市: マレーシアペナン 参加者8名 ≪総領事館表敬訪問≫ 28. 2. 17 10:00～11:00 ≪ステンレスねじ工場見学≫ 28. 2. 17 13:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・在ペナン日本総領事館表敬訪問 マレーシアの状況(市場)について総領事と面談 ・ステンレスねじ工場見学(以下参照) マレーシアのステンレスねじに関する情報交換 見学先:TONG HEER FASTENERS CO. SDN BHD(東和工業股份有限公司) (ステンレス ボルト/ナットメーカー)

III 組織強化事業

(1) 魅力ある協会運営のための事業推進

- 協会の財政の健全化、魅力ある事業推進及び会員の増強等協会の基盤強化の推進のために、事業推進5委員会・2部会（上記参照）の活動を活性化
- 協会活性化のためのさらなる会員増強の推進
- 関東・中部・関西の各支部懇談会開催及び懇親会の開催等による会員の相互連携強化事業
 - 関東支部懇親会開催（H27.12.9(水)17:00～於：ホテルコンチネンタル）
 - 中部支部懇親会開催（H27.7.10(金)17:30～於：名鉄グランドホテル）、
（H27.9.10(金)16:30～於：名鉄グランドホテル）
 - 関西支部懇談会・懇親会開催（H27.6.16(火)17:20～於：姫路キャッスルグランヴィリオホテル）
 - 賀詞交換会開催（H28.1.14(木)15:00～於：WTC コンファレンスセンター（世界貿易センタービル））
 - 忘年会開催（H27.12.3(木)17:30～於：ホテル日航大阪）
 - 関西支部講演会（H28.2.17(水)15:00～於：ホテル日航大阪）

(2) 経済情勢等に関する講演会開催（H28.2.17(水)15:00～於：ホテル日航大阪）（関西支部事業）

テーマ：「内外の金融経済情勢と関西経済の動向について」

講師：日本銀行 大阪支店 副支店長 宮下俊郎 氏

(3) 一般社団法人への移行後の事務処理作業（内閣府への報告（最終年度）等）

(4) 定款変更作業（理会上程他）・制定並びに諸規程整備（制定／改定）

(5) 政府経済対策等への対応

- 政府・官公庁からの情報提供等政府施策活用促進
- 政府経済対策情報提供
 - ・ 中小企業信用保険法（セーフティネット保証）の業種指定への対応
 - ・ 政府補助金事業及び補正予算関係の情報提供
経済産業省担当官からの理事会・執行役員会等での政府施策等に関する説明及び
ホームページ等によるその他情報提供

申請手続きに関する会員へのサポート対応

補助金等の説明会開催（H28.3.15(火)14:00～於：機械振興会館 参加者数：48名）

説明会 内容「H27年度補正予算、H28年度当初予算での補助金等の説明」
「H28年度での中小企業関連の税制改正内容について」

講師：経済産業省 製造産業局 産業機械課

課長補佐（部品・一般産業機械担当）服部 嘉博 氏

事例紹介／その他

会員企業3社からの補助金申請に係わる事例紹介

その他補助金関係情報提供

- 電力需給対策・原子力発電対策への対応（政府支援策等の情報提供）

(6) ねじ商連、日本ねじ研究協会等ねじ関係団体との連携強化

（日本ねじ研究協会との講演会／説明会共催 他）

(7) 中学生職場訪問への対応（公立中学校生徒の当協会事務局への職場見学訪問／ねじ業界説明）

(8) 会員企業の労務関係調査

- 会員企業の従業員賃金・賃上げ、賞与に関する調査

調査名	調査内容・回答社数
① 平成26年年末手当要求、妥結状況	回答 14社
② 平成27年春期賃上げ要求、妥結状況	回答 12社
③ 平成27年夏期手当要求、妥結状況	回答 15社
④ 平成27年度従業員賃金調査	調査内容 ○ 従業員数、労働時間、休日、週休2日制、定年制 ・ 平均賃金（全従業員数、組合員） ・ 年齢別平均賃金（男子従業員） ・ 新規学卒者初任給、採用者数 ・ 賃金上昇額、賞与、期末手当 ・ 賃金体系 他 回答 9社
⑤ 平成27年年末手当要求、妥結状況	回答 10社

- (9) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供
- (10) 団体保険制度対応
 - 団体グループ保険制度対応
 - ・ 制度運用の事務処理作業、その他情報提供（引受保険会社との制度運営対応(会議)含む)
 - ・ 制度改定に向けた作業対応
 - (検討作業／理事会上程作業／日本歯車工業会「グループ保険制度」との契約統合作業)
 - 国内／輸出向け団体PL保険制度対応
 - 加入促進及び制度運用のため作業対応(事務処理含む)、その他情報提供
- (11) その他
 - 経済産業省等の行政省庁との情報交換（会員企業への企業訪問への対応、情報交換）
 - (一社)日本機械工業連合会、全国中小企業団体中央会、鉄鋼製品団体協議会、中央職業能力開発協会（JAVADA）等他団体との連携・対応
 - ねじ商工連盟関係事業
 - ねじ商工連盟 事務局作業（H27 総会終了後～H29 総会迄）(H28 総会日決定調整 他)
 - ねじ商工連盟総会開催（H27.8.4(火)12:00～於：東京會館）
 - 大阪府知事表彰(商工関係者・優良従業員)候補者推薦作業／在阪会員6社・6名受賞
 - 栄典関係対応作業

第3章 総会、理事会、執行役員会、懇談会・懇親会等

1. 総会、理事会、執行役員会

(1) 総会

一般社団法人に改組後 第3回社員総会は、5月21日に東京で開催。(議事録は「参考1」に記載)

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第3回 社員総会	27.5.21 15:00~16:10 東京・浜松町 東京會館 出席 152名 (内委任状及び 書面決議 91名)	第1号議案 平成26年度事業報告(案)並びに決算報告(案)及び 公益目的支出計画実施報告案承認に関する件 第2号議案 平成27年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件 第3号議案 任期満了に伴う役員改選(案)承認に関する件 第4号議案 定款改正(案)承認に関する件 ○総会終了後懇親会 来賓挨拶:経済産業省 製造産業局 産業機械課長 佐脇 紀代志 様

(2) 理事会、執行役員会

平成27年度は、理事会、執行役員会について1回の書面審議並びに同日・同時間・同場所で3回開催、年間で計4回開催、概要は以下のとおり。

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第9回理事会 第9回執行役員会 (書面審議)	決議日:27.4.27 提案者: 代表理事 相澤正己 同意理事 9名 同意(異議なし) 監事 2名 同意執行役員 63名	決議された事項 (1) 平成26年度事業報告案 (第3回社員総会上程について) (2) 平成26年度決算報告案 (第3回社員総会上程について) (3) 正会員(1社)再入会申請について
第10回理事会 第10回執行役員会	27.9.10 15:30~16:30 名古屋・ 名鉄グランドホテル 出席理事 7名 出席監事 1名 出席執行役員 66名 (内委任状44名)	《報告事項》 ・プレス・板金・フォーミング展実施報告 ・55周年記念ねじフォーラムの実施について ・海外講師による講演会開催について ・取引委員会について ・JIS普及委員会について ・前回理事会以降の会合開催状況について ・今後の予定について ・公益目的支出計画終了(内閣府公益認定等委員会による計画終了確認)報告 ○理事会開催に先立ち 「中小企業の人材確保のための合同企業説明会等の開催」 「中核企業創出・支援事業」の概要説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 服部 嘉博 様
第11回理事会 第11回執行役員会	27.12.3 15:00~15:45 大阪・ ホテル日航大阪 出席理事 8名 出席監事 2名 出席執行役員 68名 (内委任状26名)	議題1 平成28年度行事予定案について 議題2 団体生命保険について 議題3 地球温暖化対策税の用途拡大等に反対する共同要望への連名 について ○理事会開催に先立ち 中小企業関係等平成28年度予算の概算要求並びに 法人税の実効税率の引下げに関する税制改正について 経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 中嶋 匡 様
第12回理事会 第12回執行役員会	28.3.17 15:00~16:10 東京・ 機械振興会館 出席理事 8名 出席監事 1名 出席執行役員 69名 (内委任状28名)	議題1 入会申請について 議題2 第4回社員総会付議案件について (1) 平成28年度事業計画案について (2) 平成28年度収支予算案について (3) 会費規程改正案について 議題3 経理規程改正案について 議題4 委員会の謝金及び旅費規程案 《報告事項》平成27年度事業報告及び決算報告の書面審議について ○理事会開催後 中小企業向けの各種補助金制度の説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 服部 嘉博 様

2. 懇談会・工場見学会・懇親会 他

懇談会・工場見学会・懇親会 他の開催

	日時・場所等	時間・参加者数
総会懇親会	27.5.21 東京・浜松町 東京會館	16:30~18:30 参加者 84名
関西支部懇談会 工場見学会・懇親会 (後藤晴雄支部長)	27.6.16 《工場見学会》 見学先:㈱神戸製鋼所 高砂製作所 (兵庫県高砂市) 《懇親会》 兵庫・姫路キャッスル グランヴィリオホテル	工場見学会 14:40~16:40 参加者 43名 懇談会 17:20~17:50 参加者 27名 懇親会 17:50~19:30 参加者 26名
中部支部視察会・懇親会 (長谷川裕恭支部長)	27.7.10 《視察》 視察先:トヨタ博物館(愛知県長久手市) トヨタ産業技術記念館 (愛知県名古屋市中区) 《懇親会》 名古屋:名鉄グランドホテル	視 察 13:30~14:30/15:30~17:00 参加者 27名 懇親会 17:30~19:00 参加者 34名
執行役員・監事・中部支部 会員・賛助会員 懇親会 (9月理事会)	27.9.10 名古屋:名鉄グランドホテル	懇親会 16:30~18:00 参加者 36名
忘年会 (12月理事会)	27.12.3 大阪・ホテル日航大阪 《忘年会来賓》 経済産業省 近畿経済産業局 産業部 製造産業課長 森下 剛志 様	講演会 16:00~17:30 参加者 67名 忘年会 17:30~19:30 参加者 67名 (講演:取引委員会事業 参照)
関東支部視察会 (研究報告会)・忘年会 (椿省一郎支部長)	27.12.9 《視察》 視察先:総務省消防庁 消防研究センター (東京都調布市) 《忘年会》 ホテルコンチネンタル(東京都府中市)	視 察 14:00~15:00 参加者 17名 研究報告会 15:00~16:00 同上 忘年会 17:00~19:00 参加者 15名 (研究報告:関東支部事業 参照)
関西支部講演会 (後藤晴雄支部長)	28.2.17 大阪・ホテル日航大阪	15:00~17:00 参加者 30名 (講演:組織強化事業 参照)
賀詞交歓会 (日本ねじ研究協会と共催)	28.1.14 東京・浜松町 東京會館 《来賓挨拶》 経済産業省 製造産業局 産業機械課長 佐脇 紀代志 様	15:00~16:30 参加者 174名

3. ねじ商工連盟総会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ねじ商工連盟総会 (渡辺昇会長、 相澤正己副会長)	27.8.4 12:00~14:00 東京・ 浜松町 東京會館 参加者数 ねじ協会側 14名 ねじ商連側 17名 報道 5名	《報告事項》・平成26年度収支決算並びに剰余金処分案 ・平成27年度収支予算案 《議 題》・会長並びに副会長の改選について (総会終了後) ○ねじ商連側代表4名より地区別に現況及び見通し等報告 ○ねじ協会側より ・ねじ協会委員会事業についての報告とお願い ・JIS(B 1180/B 1181)本体規格品への切替えの啓蒙普及の 取組みの報告 (説明者:大磯義和専務理事)

【平成27年度会員数推移】

	期首	入会	退会	期末
正会員(内団体)	151(5)	3(0)	1(0)	153(5)
賛助会員	41	0	1	40
合計	192(5)	3(0)	2(0)	193(5)

平成27年度 入会社数

正会員3社

正会員 株式会社トーブラ (関東支部) (再入会)
 アルプススクリュウ株式会社 (関東支部) (再入会)
 株式会社トーブラテクノ (関東支部)

平成27年度 退会社数

正会員1社 賛助会員1社

正会員 株式会社月星製作所 (中部支部)
 賛助会員 日発精密工業株式会社

・会員数推移

	入会	退会	年度末	全会員
平成20年度('08)	1(0)	10(0)	153(6)	184(6)
	0	2	31	
平成21年度('09)	9(0)	7(1)	155(5)	190(5)
	4	0	35	
平成22年度('10)	2(0)	4(0)	153(5)	192(5)
	5	1	39	
平成23年度('11)	1(0)	2(0)	152(5)	192(5)
	1	0	40	
平成24年度('12)	3(0)	0(0)	155(5)	196(5)
	2	1	41	
平成25年度('13)	0(0)	2(0)	153(5)	193(5)
	2	3	40	
平成26年度('14)	2(0)	4(0)	151(5)	192(5)
	2	1	41	

上段：正会員（内団体数）

下段：賛助会員

【参考 1】第 3 回社員総会議事録（一般社団法人日本ねじ工業協会）

1. 日 時
平成 27 年 5 月 21 日（木曜日） 15:00～16:10
2. 場 所
東京都港区浜松町 2-4-1
世界貿易センタービル 39 階 東京會館「オリオンルーム」
3. 出 席 者
正会員総数 152 名
出席正会員数 152 名（うち委任状及び書面による議決権行使者 91 名）
4. 議 題
第 1 号議案 平成 26 年度事業報告(案)並びに決算報告(案)及び
公益目的支出計画実施報告案承認に関する件
第 2 号議案 平成 27 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件
第 3 号議案 任期満了に伴う役員改選(案)承認に関する件
第 4 号議案 定款改正(案)承認に関する件
5. 議 事
開会に先立ち平成 26 年度にご逝去された会員企業物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げた。
大磯専務理事から、出席正会員数につき、定款第 29 条（正会員の過半数の出席により成立）の要件を満たし、定足数に達している旨を報告。
定款第 27 条の規定により、相澤正己会長が議長となった。
議事に入る前に、来賓の経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 服部 嘉博 氏より挨拶があった。
続いて議長が本日の議事録署名人に椿省一郎副会長、後藤晴雄副会長の 2 名を指名して議事に入った。

第 1 号議案 平成 26 年度事業報告(案)並びに決算報告(案)及び
公益目的支出計画実施報告(案)承認に関する件

専務理事より、資料 1-1「平成 26 年度事業報告書(案)」、資料 1-2「平成 26 年度決算報告書(案)」及び資料 1-2 別紙「公益目的支出計画実施報告書(案)」に基づき説明があった。

続いて監事を代表して田中良典監事が、「去る 4 月 17 日に、監事 2 名が一般社団法人日本ねじ工業協会本部において、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの事業年度における事業内容、財産の状況、会計並びに理事の業務執行状況の監査を行った結果、貸借対照表、財産目録及び収支計算書は正しく示しており、また理事の職務執行についても法令または定款に違反していないと認める」旨の報告があった。

議長より第 1 号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第 2 号議案 平成 27 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件

専務理事より資料 2-1「平成 27 年度事業計画書(案)」、資料 2-2「平成 27 年度収支予算書(案)」について、説明があった。

議長より第 2 号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第3号議案 任期満了に伴う役員改選(案)に関する件

専務理事より、本日の第3回社員総会終結時をもって、現役員は任期満了となる。このため各支部の役員選考委員会において資料3別紙に記載の役員候補が選任され、第8回理事会において承認されているため、審議願いたいと説明した。議長が議場に第3号議案を諮った結果、異議なく承認され下記のとおり可決確定した。また任期は定款第16条2項により、第5回社員総会までであると説明があった。

【理 事】		(順不同、敬称略)
相澤 正己	メイラ株式会社	取締役会長 (重任)
椿 省一郎	株式会社互省製作所	代表取締役社長 (重任)
大川 克良	大川精螺工業株式会社	代表取締役社長 (重任)
佐藤 義則	株式会社サトーラシ	代表取締役社長 (就任)
長谷川裕恭	株式会社メイドー	代表取締役社長 (重任)
藤田 守彦	藤田螺子工業株式会社	常務取締役 (重任)
後藤 晴雄	株式会社朝日押捻子製作所	代表取締役社長 (重任)
樫本 隆之	株式会社三和鋳螺製作所	代表取締役会長 (重任)
大磯 義和	一般社団法人日本ねじ工業協会	業務執行理事 (重任)
【監 事】		(順不同、敬称略)
後関 満之	株式会社後関製作所	代表取締役会長 (重任)
池田 裕之	池田金属株式会社	代表取締役社長 (就任)

第4号議案 定款改正(案)承認に関する件

定款12条第2項では理事のうち副会長は5名までとなっているが、これを7名までに変更を行いたいと専務理事が説明した。議長が議場に第4号議案 定款の改正(案)を諮った結果、異議なく承認された。

議長は、以上をもって第3回社員総会の議事が全て終了した旨を述べ、16時10分終了した。

上記の議決を明確にするために本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成27年5月21日

一般社団法人日本ねじ工業協会

議 長 会 長 相 澤 正 己
署 名 人 副 会 長 椿 省 一 郎
署 名 人 副 会 長 後 藤 晴 雄